

II スポーツを通じた地域振興

1. スポーツによる地域のにぎわいづくり

【目標】
参加型スポーツイベントの開催や、スポーツツーリズムの展開を通じた、地域への誘客促進、地域間交流による地域の活性化を目指します。

【指標と目標数値】

指標名	当初計画時 (H24)	現状 (H28)	目標 (H34)
●スポーツ合宿でスイムピア奈良を利用する人数	—	2,179人(H27)	3,000人

●は今回追加指標。



▲奈良マラソン



▲Kobo Trail ～弘法大師の道～

【施策の体系】

(1) 参加型スポーツイベントの実施

- ①季節に応じたスポーツイベント等の展開
- ②自然、地勢、景観等、奈良の特性を活かしたスポーツの推進

(2) スポーツツーリズムの推進

- ①スポーツイベントを活かした滞在型観光の促進
- ②南部地域、東部地域の特色を活かしたスポーツイベントの展開
- ③スポーツ合宿の誘致
- ④スポーツイベント等による海外からの誘客促進
- ⑤サイクリングなど周遊型観光ルート・スポットの活用



▲ツアー・オブ・奈良・まほろば

2. 東京オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツによる国際交流の促進

【目標】
2019年のラグビーワールドカップ2019、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地招致、強化合宿の受入や、2021年のワールドマスターズゲームズ2021関西の開催等を契機とした、継続的な国際交流を促進します。



▲オーストラリア女子サッカーチーム リオデジャネイロオリンピック アジア最終予選前キャンプ



【施策の体系】

(1) キャンプ地招致等

- ①国際競技大会の事前キャンプや強化合宿の継続的な受入

(2) キャンプ地招致等によるスポーツ振興と交流促進

- ①スポーツ交流等を通じた県内ジュニア選手の育成
- ②スポーツ交流等を通じた友好交流の促進
- ③マスメディア、ソーシャルメディア(SNS など)を活用した奈良の魅力発信

計画の進行管理体制の構築

【「(仮称)奈良県スポーツ推進協議会」の設置・運営】

県、市町村、総合型地域スポーツクラブ等が連携し、計画実践の推進力となる、「奈良県スポーツ推進協議会」を設置・運営

- 構成員 県、市町村、総合型地域スポーツクラブ 等
- 内容 スポーツ推進計画に基づく、課題解決に向けた実践活動について情報共有、実践案の検討を実施

奈良県スポーツ推進計画

計画の理念と目標

本計画は、奈良県民一人ひとりが、スポーツによって生活をより充実したものとするためのマスタープランとして、奈良県全体でスポーツを推進し、「生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」の実現を目指します。

<目指す姿>

生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県

Sports for Everyone with a Smile

<基本目標>

だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる環境づくり

だれもが

年齢や性別、障害の有無などに関わらず、また、子育てに忙しい方、働き盛りのビジネスパーソンも、だれもがスポーツを楽しむことができる環境づくりを目指します。

いつでも

学校の体育の時間やクラブチームで過ごす時間だけでなく、平日でも休日でも夜でも、やりたいときにスポーツができる環境づくりを目指します。

どこでも

通学・通勤途中や家事の合間などの時間でも、わざわざスポーツ施設に向かなくても、身近にスポーツに親しめる環境づくりを目指します。



計画の位置づけ

- 本計画は、本県におけるこれまでのスポーツ推進のための取組みの成果や現状とともにスポーツ基本法及び国の「第2期スポーツ基本計画」の趣旨及び方向性を踏まえ、策定するもの
- また、県民の健康寿命の日本一達成を目指す「なら健康長寿基本計画」の他、「奈良県教育振興大綱」、「奈良県高齢者福祉計画」、「奈良県障害者計画」における施策と整合を図りながら、県民のスポーツ推進のために取り組む内容を明らかにするもの
- 本計画は、市町村、学校、スポーツ関係団体、企業、地域など多様な主体が連携・協働し、県民全体でスポーツの推進に取り組む方向性を示したもの

計画の期間

平成30年度から平成34年度
(当初計画(H25~H34)を平成29年度に見直し)

<見直しの観点>
当初計画の基本理念や施策体系は踏襲しながら、新たにライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツの推進と、スポーツを通じた地域振興という観点で見直しを行う。

スポーツ推進に向けた具体的な展開方向

I ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツの推進

1. だれもがスポーツに親しめる地域スポーツの推進

【目標】

年齢や性別、障害の有無などに関わらず、すべての県民がスポーツをしたい時に気軽に行うことができるよう、様々なライフスタイルに応じたスポーツ活動の受け皿として地域スポーツの推進に取り組みます。

【指標と目標数値】

指標名	当初計画時 (H24)	現状 (H28)	目標 (H34)
○総合型地域スポーツクラブの会員数	10,355 人	13,814 人 [35,500 人]	20,000 人 [70,000 人]
●法人格を有する総合型地域スポーツクラブの割合	28.6%	41.3%	70%
○スポーツイベントの参加者数 (総合型地域スポーツクラブ交流大会)	1,149 人	5,049 人 [5,000 人]	10,000 人 [10,000 人]
●障害者スポーツ大会における参加者数	1,060 人	1,126 人(H29)	1,170 人 (H31)
●障がい者スポーツ指導員数 (日本障がい者スポーツ協会公認)	223 人 (H23)	214 人	300 人

●は今回追加指標。各欄下段[]数値は、当初計画時目標数値

【施策の体系】

(1) 総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツの推進

- ①総合型地域スポーツクラブの活動の質的充実
- ②総合型地域スポーツクラブへの支援体制の強化

(2) ライフスタイルに応じたスポーツの推進

- ①ビジネスパーソンなどのスポーツの推進
- ②女性がスポーツに取り組みやすい環境づくり
- ③子育て世代のスポーツの推進
- ④高齢者のスポーツの推進

(3) 障害者スポーツの推進

- ①スポーツに取り組む機会(参加する機会)の充実
- ②障害のある人とない人が交流できる取組みの推進
- ③身近な地域でスポーツができる環境づくりの推進
- ④障害者スポーツ指導者等の養成

(4) スポーツを支える環境づくり

- ①スポーツ指導者、マネジメント人材の確保、養成
- ②スポーツイベントや施設情報等に関する情報発信力の強化
- ③スポーツ顕彰制度の整備
- ④スポーツボランティア人材の育成

2. 子どもを健やかに育むスポーツの推進

【目標】

子どもたちが、楽しみながら身体を動かすことで基礎体力(※3)の向上を図るとともに、スポーツを通して相手を思いやることや、ルールを守ることなどを学び、健全な心身の発達と人格形成を促し、未来を担う“ひと”づくりを目指します。

【指標と目標数値】

指標名		当初計画時 (H24)	現状 (H28)	目標 (H34)
○1日の総運動時間が60分以上の割合	小5	45%	41.0% [50%]	55% [55%]
	中2	67%	69.7% [70%]	75% [75%]
●子どもの体力合計点(※4)	小5	男子:54.81点 (54.07点) 女子:55.14点 (54.85点)	男子:53.57点 (53.92点) 女子:55.00点 (55.54点)	全国平均以上
	中2	男子:40.20点 (42.32点) 女子:46.48点 (48.72点)	男子:43.11点 (42.13点) 女子:49.51点 (49.56点)	全国平均以上

●は今回追加指標。各欄下段[]数値は、当初計画時目標数値

(※3)体力は、運動をするための体力と健康に生活するための体力、両方をいう。(※4)平成24、28年度の()数値は全国平均

【施策の体系】

(1) 幼児期のスポーツ(運動・遊び)の推進

- ①幼稚園・保育所等でのスポーツの推進
- ②地域・家庭でのスポーツの推進
- ③スポーツ医・科学の活用

(2) 子どもの体力向上方策の推進

- ①学校体育・健康教育の充実
- ②学校運動部活動・地域運動部活動の充実

(3) 子どものスポーツ活動環境の充実

- ①子どもにスポーツの楽しさを伝える指導者の育成・確保
- ②ファミリーでスポーツに親しむ機会づくり



▲幼児運動プログラム ▲小学生スポーツ教室

3. 県民に夢と感動を与える競技スポーツの推進

【目標】

競技力の向上とともに、プロスポーツなどの観戦の機会づくりにより、未来を担う子どもをはじめ、多くの人々がスポーツへの夢やあこがれをもち、勇気・感動を与えられるスポーツの推進を目指します。

【指標と目標数値】

指標名	当初計画時 (H24)	現状 (H28)	目標 (H34)
○スポーツ指導者数 (日本体育協会公認)	2,751 人	2,203 人 [3,200 人]	4,000 人 [4,000 人]
○国体の総合成績	35 位	19 位(H29) [30 位台前半]	20 位台定着 [20 位台]
○プロスポーツ等の試合数	5 試合	51 試合 [30 試合]	60 試合 [60 試合]
●全国大会1位の奈良県選手 の人数・団体数	—	57 件	80 件

●は今回追加指標。各欄下段[]数値は、当初計画時目標数値

【施策の体系】

(1) 競技力の向上

- ①選手・指導者等の発掘・育成強化に関する支援
- ②スポーツ医・科学等を活用したサポート体制の整備
- ③パラスポーツにおける競技力向上

(2) トップアスリート等との連携によるスポーツの推進

- ①トップアスリートを活用したスポーツイベントの実施
- ②企業、大学等が有する人材の活用

(3) プロスポーツなどの観戦の機会づくり

- ①プロスポーツなどの試合誘致
- ②地域、企業等との連携による支援体制の検討



▲パラリンピックアスリート発掘イベント ▲プロ選手によるスポーツ教室

4. スポーツ施設の整備・活用

【目標】

県内スポーツ施設の整備・運営を検討・推進、また既存施設の機能の充実、有効活用することで、すべての県民が、いつでも、どこでも様々なスポーツを楽しめる環境づくりを目指します。

【指標と目標数値】

指標名	当初計画時 (H24)	現状 (H28)	目標 (H34)
●橿原公苑年間利用者数	301,330 人	308,893 人	330,000 人
●まほろば健康パーク年間利用者数	—	303,290 人	330,000 人

●は今回追加指標。

■ 橿原公苑



▲橿原公苑陸上競技場

■ まほろば健康パーク



▲まほろば健康パーク スイムピア奈良

【施策の体系】

(1) 県内スポーツ施設の整備・運営の検討・推進

- ①全国規模の大会開催を視野に入れた拠点施設の整備方針の検討・推進
- ②民間活力の積極的な活用の検討・推進
- ③新たなスポーツ施設の研究

(2) 身近な公共施設等の整備・活用

- ①オープンスペースの活用等まち中でのスポーツ環境の整備
- ②学校体育施設等の活用

(3) 既存施設の中長期的なファシリティマネジメントの推進

- ①既存施設の機能向上、長寿命化の促進
- ②スポーツ施設のユニバーサルデザイン化の促進